

平成15年度

相模原市立博物館 年報

新発見
考古学
速報版

2003 EXHIBITION OF NEW ARCHAEOLOGICAL DISCOVERIES

発掘された日本列島

2003

平成16年1月24日(土)～2月22日(日)

拝観料：相模原市立博物館(100円) 郷土資料館(100円) 17歳以下
幼児：大人300円 高校生以下 無料

展示内容
「王権の隆起と神代文皇・今城塚古墳」
1月24日(土)～1月31日(日) 10:00～18:00
開館：土曜、祭日(10:00～18:00) 休館：月曜、祝日、年末年始
会場：相模原市立博物館
主催：相模原市立博物館、相模原市立郷土資料館

開催期間
相模原市立博物館
1月24日(土)～1月31日(日) 10:00～18:00
郷土資料館
1月24日(土)～1月31日(日) 10:00～18:00
相模原市立博物館
1月24日(土)～1月31日(日) 10:00～18:00

12月10日
「発掘された日本列島2003」地域展
相模原と遺跡調査の歩み
——歴史の地をめぐって——

相模原市立博物館
<http://www.city.sagamihara.lg.jp/museum/index.htm>
TEL 042-750-8030 〒259-0021 相模原市緑区5-1-11E

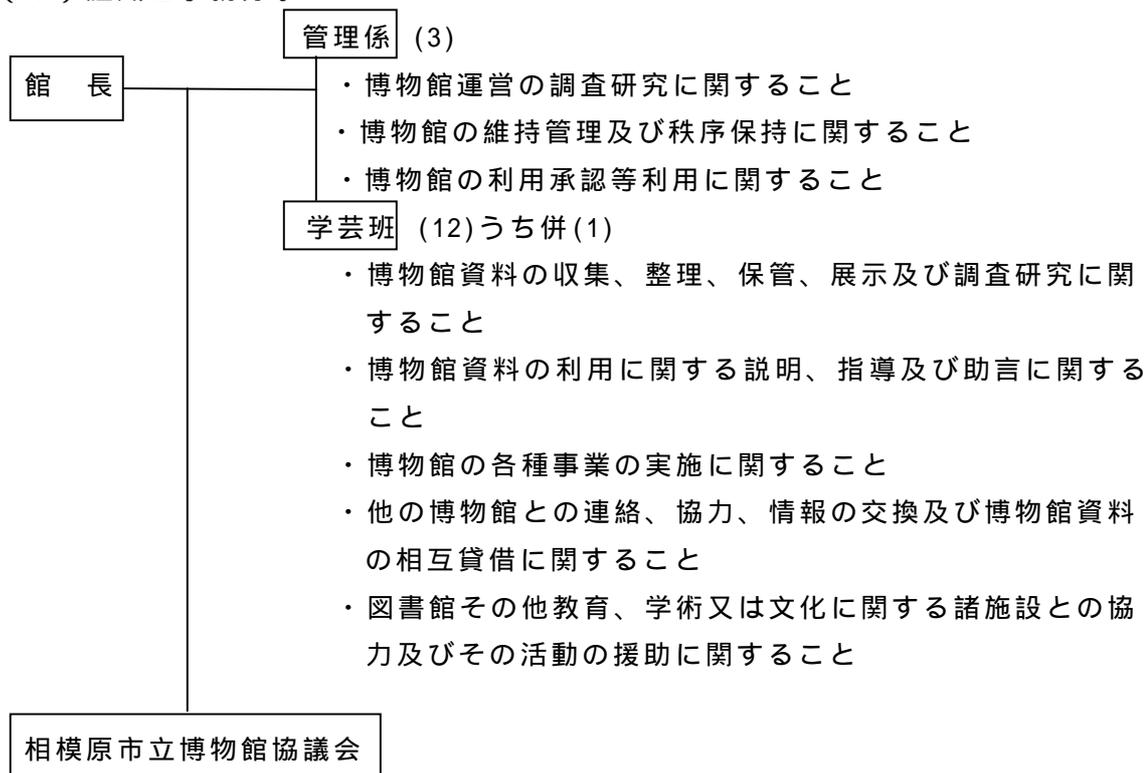


平成16年4月1日
相模原市立博物館

管理運営

1 組織及び職員

(1) 組織と事務分掌



(2) 職員(平成16年4月1日現在)

館長	参事(兼)館長	井上 進
管理係	副主幹(兼)管理係長	成瀬 正行
	主査	不動田 とし子
	主任	久万 真彦
学芸班	担当課長	杉本 芳秋 (天文担当)
	(学芸班担当)	
	副主幹(学芸員)	守屋 博文 (動物担当)
	指導主事	遠山 正紀 (地理担当)
	指導主事	平能 克泰 (天文担当)
	主査(学芸員)	加藤 隆志 (民俗担当)
	主任(学芸員)	秋山 幸也 (植物担当)
	主任	福田 豊 (情報担当)
	主任(併)	草薙 由美

主 任 上田 幸枝 (歴史担当)
 主 事(学芸員) 河尻 清和 (地質担当)
 主 事(学芸員) 河本 雅人 (考古担当)
 主 事(学芸員) 塩谷 裕久 (天文担当)

*なお、受付案内業務は(財)相模原市都市整備公社に委託し8名が配属され、プラネタリウム投影業務の一部は(株)東急コミュニティーに委託し3名が配属されている。

2 博物館協議会

- (1)趣 旨 博物館法に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関。
- (2)委員構成 3名(学校教育)、2名(社会教育)、5名(学識経験者)の計10名
- (3)任 期 2年(平成15年11月20日～平成17年11月19日)
- (4)活動状況 15年度は4回開催され、常設展示の評価について検討等がなされた。

3 施 設

(1)施設概要

- ・敷地面積 9,999.48m²
- ・構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造
- ・規模 地下1階・地上3階建て
- ・建築面積 5,081.03m²
- ・延床面積 9,510.24m²

(2)施設管理

- ・施設の設備管理、警備、清掃業務は外部委託している。
- ・消防訓練 5月13日(火・臨時休館日)、10月15日(水・臨時休館日)、1月27日(火)

4 予 算

平成15年度予算

(単位:千円)

款項目	科目名	本年度予算額	前年度予算額	比 較	財源内訳
50:20:40	博物館費	264,119	318,168	-54,049	特定財源 16,795 (特財内訳) その他 16,795 一般財源 247,324

節		説明
区分	金額	
1報酬	504	博物館の運営及び維持管理に要する経費
8報償費	8,668	経費内訳
9旅費	1,088	15年度
11需用費	70,449	14年度
12役務費	1,010	1 博物館協議会経費 538 461
13委託料	145,462	2 施設運営費 94,103 126,877
14使用料及び賃借料	26,614	(1) 資料収集保存経費 6,004 12,072
18備品購入費	8,165	(2) 資料調査研究経費 3,851 7,064
19負担金、補助及び 交付金	2,132	(3) 展示・教育普及事業経費 21,026 22,517
27公課費	27	(4) プラネリウム事業経費 62,759 84,667
		(5) その他運営費 463 557
		3 施設維持管理費 163,258 183,999
		4 施設維持補修費 5,500 6,300
		5 一般事務費 720 531
		合計 264,119 318,168

教育普及

1 入館者数

(1) 平成15年4月1日～平成16年3月31日

総計 126,120人

(2) 各月ごとの詳細は、次のとおり。

	入館者総数	プラネ総数	一般投影計	全天周映画	学習投影計	特別展総数	星空観望会	講座講演会	プラネ観覧料	開館日	1日平均
15年4月	7,874	3,001	1,347	1,654	-	2,807	20	513	932,900	25	315
5月	10,663	4,657	1,237	2,839	581	7,310	39	845	1,333,100	26	410
6月	11,325	4,796	1,105	2,236	1,455	5,724	50	939	1,068,810	25	453
7月	11,884	5,076	1,953	2,362	761	1,767	78	524	1,361,180	27	440
8月	18,891	10,080	4,798	5,247	35	5,025	78	861	3,193,060	27	700
9月	9,567	3,762	1,691	1,987	84	2,078	221	441	1,261,820	24	399
10月	9,527	3,360	945	1,832	583	5,102	52	452	914,840	26	366
11月	12,036	5,646	1,050	1,792	2,804	8,423	199	376	893,800	26	463
12月	6,201	3,012	498	749	1,765	3,108	37	208	384,740	22	282
16年1月	7,598	3,027	1,177	1,314	536	1,827	123	147	795,290	24	317
2月	13,110	4,176	1,713	1,470	993	6,623	105	906	1,001,500	24	546
3月	7,444	3,032	1,141	1,377	514	1,744	131	661	763,010	26	286
15年度計	126,120	53,625	18,655	24,859	10,111	51,538	1,133	6,873	13,904,050	302	418
総計	1,021,249	446,695	177,463	180,937	88,295	345,233	7,850	39,122	122,043,730	2,513	

7年度	78,395	38,262	16,796	12,688	8,778	22,199	618	836	11,099,520	107	733
8年度	125,599	58,023	26,849	20,571	10,603	36,682	1,237	3,186	18,187,120	300	419
9年度	105,793	43,355	18,654	16,055	8,646	28,388	1,104	3,167	12,233,880	300	353
10年度	107,306	45,038	18,577	17,747	8,714	24,779	624	5,696	12,820,900	299	359
11年度	115,031	53,660	20,759	23,651	9,250	36,670	665	5,255	15,325,720	295	390
12年度	111,161	46,879	17,302	18,777	10,800	31,658	634	5,258	11,921,600	302	368
13年度	132,776	59,062	20,169	28,312	10,581	57,647	910	4,574	14,329,780	305	435
14年度	119,068	48,791	19,702	18,277	10,812	55,672	925	4,277	12,221,160	303	393

2 特別展・企画展・収蔵品展等

(1) 第7回収蔵品展「豊かさの研究-石器時代から見る未開と文明-」

内 容 当館収蔵資料のほか市内出土の石器や復元した投槍器などの展示から、当時の技術や機能性の高さなどを紹介し豊かさについて考察した。

期 間 〔平成15年1月26日(土)〕～4月6日(日)

観覧料 無料

入場者 10,104人(うち平成15年度分は1,263人)

出版物 ポスター(B2)500枚、リーフレット10,000部

関連事業 平成15年度については該当なし(平成14年度「年報」を参照)。

(2) 企画展「なーるほど!サイエンス」

内 容 「サイエンス展示・実験ショーアイデアコンテスト入賞作品」を中心に展示し体験や実験を通じ、自然法則を理解し科学へ親しむ機会を提供した。

期 間 4月26日(土)～6月22日(日)

観覧料 無料

入場者 14,578人

出版物 ポスター(B2)500枚、チラシ(A4罫)8,000枚、

関連事業 ・4月27日(日)ほか会期中の日曜日及び休日延べ12回

講師：菅原賢氏(厚木市子ども科学館)/第1回

牧原正記氏(日本科学未来館)/第5回ほか科学館職員及び小

中学校教諭等、参加者：延べ1,535人

(3) 特別展「水晶ってすばらしい! - その美と実用の魅力 - 」

内 容 天然水晶から人工水晶まで様々な水晶の原石を中心に展示し、水晶の形などの魅力や科学技術を支えている水晶の実用面を紹介した。

期 間 7月19日(土)～9月23日(火・祝)

観覧料 大人：300円(高校生以下：無料)

入場者 8,870人

出版物 ポスター(B2)500枚、チラシ(A4罫)8,000枚、図録1,000部

関連事業 ・7月27日(日)・8月3日(日)、水晶教室「パソコンで学ぶ、水晶のかたちの不思議」、

講師：岩崎秀夫氏(理学博士)、参加者：延べ37人

・8月17日(日)・23日(土)全2回、子ども水晶教室「水晶博士になろう」、参加者：延べ57人

・8月31日(日)、講演会「水晶のはなし」、

講師：青木正博氏(地質調査総合センター地質標本館館長)、

参加者：80人

・8月2日(土)ほか全4回、展示解説、参加者：延べ136人

(4) 第8回収蔵品展「～大地さんと未来さんが見つける～ちょっと昔の相模原」

内 容 収蔵されている資料の中から、学校の授業で活用できるような道具やモノを展示し、子どもたちの調べ学習等にも活用した。

期 間 10月11日(土)～12月14日(日)

観覧料 無料

入場者 16,633人

出版物 ポスター(A2) 500枚、チラシ(A4)10,000部

関連事業 ・10月12日(日)ほか全6回、チャレンジ体験「昔の道具を使ってみよう」
参加者：延べ295人
・11月3日(月・祝)、「わらぞうり作り教室」
講師：中村俊夫氏(相模原市老人クラブ連合会麻溝会長)ほか、
参加者：43人
・10月19日(日)ほか全3回、展示解説、参加者：延べ90人

(5) 新発見考古速報展「発掘された日本列島2003」

内 容 文化庁と各開催館主催による巡回展で日本列島各地で行われた発掘調査の出土品を中心に展示するとともに、当館では「相模原の遺跡調査の歩み」を紹介した。

期 間 1月24日(土)～2月22日(日)

観覧料 大人：300円(高校生以下：無料)

入場者 8,450人

出版物 ポスター(B2) 500枚、チラシ10,000部、リーフレット(A4 4頁)6,000部

関連事業 ・2月8日(日)、記念講演「王権の断絶と継体天皇・今城塚古墳」
講師：吉村武彦氏(明治大学教授)、参加者：200人
・2月1日(日)・15日(日)、展示解説、参加者：延べ270人

(6) 企画展「相模原の石仏～石仏が伝える地域の歴史～」

内 容 石仏の実物、複製や写真をはじめとして古文書などの資料を展示し、石仏が示している地域の歴史などを紹介した。

期 間 3月20日(土・祝)～〔平成16年5月23日(日)〕

観覧料 無料

入場者 1,744人(平成15年度分)

出版物 ポスター(B2) 500枚、チラシ8,000部、リーフレット(A4 4頁)8,000部

関連事業 平成15年度実施分

・3月20日(土・祝)、展示解説、参加者：25人

3 講座・観望会・その他の事業

講座

講師は、学芸員が行ったもののほか、外部に依頼したものについては項目 と付記した（なお、肩書きは当時）。

(1) 民俗講座「道祖神を調べる会」（14年度～16年度継続事業）

内 容 月1回程度、当館や他施設での講義並びにフィールドワークを通じて道祖神について学習し、併せて博物館の基礎データ作成も兼ねた。

実施日 4月6日(日) <第6回>から3月7日(日) <第17回>まで全14回
(平成15年度分)

参加人数 延べ 509人

外部講師 浜野達也氏(平塚市博物館学芸員) / 第12回(第17回日曜講演会)
入江英弥氏(國學院大學兼任講師) / 第15回
大野一郎氏(厚木市郷土資料館学芸員) / 第17回

(2) 「さがみはらタンポポ調査2003」

内 容 市民参加による市域のタンポポ調査を通じ土地利用と植生の関係を学習した。

実施日 4月12日(土)から6月28日(土)まで全3回

参加人数 延べ 60人

(3) 博物館日曜講演会(15年度開催分;第12回～第23回)

内 容 毎月第4日曜日に外部研究者や当館学芸員等の講演、成果発表を行い、幅広い学術的視点や今日的課題等の学習機会を提供した。

第12回 「三くだり半の世界～江戸に学ぶ別れの美学～」

講師：高木侃氏(専修大学教授)

第13回 「古代のお役人」

講師：小林泰文氏(県立舞岡高校教諭)

第14回 「化石から見た250万年前の相模原」

講師：松島義章氏(日本大学非常勤講師)

第15回 「古典落語の音表現～人・音・心～」

講師：山下充康氏(東京音楽大学教授)

第16回 「火星大接近によせて」

講師：水谷仁氏(文部科学省宇宙科学研究所教授)

第17回 「道祖神の火祭り～神奈川県内の事例を中心に～」

講師：浜野達也氏(平塚市博物館学芸員)

第18回 「田んぼと里山をいかす」

講師：守山弘氏(東京農業大学客員教授)

第19回 「国道16号と相模原」

講師：箸本健二氏（大阪学院大学助教授）

第20回 「相模原のセミ～5年間の調査をふりかえって～」

講師：守屋博文（当館学芸員）

第21回 「温泉の地球科学」

講師：大山正雄氏（県温泉地学研究所専門研究員）

第22回 「相模の日本武尊伝説～大沼の日本武尊“火難伝承を巡って”～」

講師：入江英弥氏（國學院大學兼任講師）

第23回 「恒星の世界 - 星の一生と最近の変光星観測から - 」

講師：山村一誠氏（宇宙科学研究本部助手）・杉本芳秋(当館学芸員)

実施日 4月27日(日)から3月28日(日)までの毎月第4日曜日全12回(ただし、第21回については第3日曜日)

参加人数 延べ 1,563人(第17回のうち人数41人は(1)に再掲。内訳は、187(12)+160(13)+125(14)+112(15)+173(16)+160(17)+120(18)+100(19)+40(20)+110(21)+200(22)+76(23)=1,563 ()内は回数)

(4) 植物学講座「花の観察と植物画」

内容 「描く」という行為をとおして植物の構造などを学び、植物画の初歩的な手法に触れた。

実施日 10月12日(日)・13日(月・祝)全2回

参加人数 延べ 40人

外部講師 豊田路子氏(植物画家・神奈川県植物誌調査会会員)

(5) 天文学講座「金星」

内容 2004年6月の金星の太陽面通過に合わせて、明治7年の際に行われた測量のことや、最近の探査衛星などの調査成果を学習した。

実施日 2月7日(土)から2月28日(土)まで全4回

参加人数 延べ 86人

外部講師 岡田達明氏(宇宙科学研究本部) / 第1・2回

重久長生氏(東日本天文資料センター) / 第3回(公開講座)

(6) 地質学講座「街の中の岩石観察ウォーキング」

内容 ビルの壁や、公園の石垣などに利用されている石材を観察し、身近な岩石を知るとともに、岩石学の初歩を学習した。

実施日 2月7日(土)から3月20日(土・祝)まで全4回

参加人数 延べ 80人

(7) 動物講座「川の生き物を調べよう」

内容 河川にはどのような生き物が生息しているのかを、観察や採集を通じて学習した。なお、本講座の成果は将来の特別展等に活用する。

実施日 2月22日(日)から〔平成16年4月18日(日)〕まで全7回

参加人数 延べ 43人(平成15年度開催の第4回まで)

外部講師 勝呂尚之氏(県水産総合研究所内水面試験場) / 第2回

(8) 古文書解読入門講座「初めて読む古文書」

内 容 江戸時代の村の古文書を使いながら、古文書解読の初歩的な事項を学習した。

実施日 2月27日(金)から3月26日(金)まで全5回

参加人数 延べ 250人

外部講師 長田かな子氏(元市史料調査専門) / 第3回(公開講座)

(9) こども天文教室

内 容 天文の講話や実習を通じて子どもたちへの天文宇宙や自然科学への興味・関心を高めた。

実施日 3月6日(土)から3月27日(土)まで全7回

参加人数 延べ 63人

外部講師 竹井満氏(宇宙科学研究本部) / 第2回

観望会

(1) 星空観望会

内 容 季節に応じた天体の観測により天文知識の普及を図る。

実施日 毎月第5及びプラネタリウム休止時等を除く金曜日(全25回)

参加人数 延べ 1,133人 雨天・曇天時等中止

(2) 親子宿泊天体観測「大接近する火星を見よう」

内 容 火星大接近にあわせ火星観望や火星儀作り、太陽観察等を行った。

実施日 8月26日(火)～27日(水)の1泊2日

参加人数 59人

(3) 火星観望会

内 容 プラネタリウムでの解説に続いて、大接近を迎える火星を観察した。

実施日 8月29日(金)

参加人数 102人

その他の事業

(1) こども自然教室(全4回)

内 容 屋外で実際に調べたり観察したりしながら自然について学習した。

実施日 ()6月15日(日) ... 「うんちのなかみをしらべよう」

()9月6日(日) ... 「よるになく虫とよるにさく花」

()10月19日(日) ... 「あなたも足あとたんでい」

()12月7日(日) ... 「すなをつかってあそぼう」

参加人数 延べ 326人(内訳 + + + ; 92+93+79+62=326)

- (2) 糸取り・機織り実演会～糸取りや機織りを体験しよう～
 内 容 糸取り・機織りの方法を見学するとともに実際に体験した。
 実施日 7月20日(日)・21日(月・祝)
 参加人数 延べ 350人
 外部講師 大谷 タケ氏(市内在住)
- (3) 夏休み子ども学習相談
 内 容 小・中学生を対象に夏の自由研究等のアドバイスをした。
 実施日 7月20日(日)から8月31日(日)まで
 参加人数 延べ 95人
- (4) 夏休み親子石器づくり教室
 内 容 原始時代と現代の「切る道具」の違いを体験的に学習した。
 実施日 8月2日(土)
 参加人数 34人
 外部講師 御堂島正氏(かながわ考古学財団)
- (5) 夏休み親子天文教室
 内 容 望遠鏡の仕組みを学びながら望遠鏡を工作し、天体観測まで行うこ
 とで天文への興味を深めた。
 実施日 8月5日(火)・7日(木)
 参加人数 203人

〔参考〕

- (1) 市史講演会
 【本事業の主催は市総務課市史編さん室】
 内 容 第3回「明治・大正の地図からみる相模原」
 第4回「相模野 - 近世から近代へ - 」
 実施日 9月20日(土) / 第3回、3月6日(土) / 第4回
 参加人数 103人 / 第3回、192人 / 第4回
 外部講師 清水靖夫氏(法政大学講師) / 第3回
 神崎彰利氏(市史編さん室特別顧問) / 第4回
- (2) 宇宙科学研究所公開講座「ホシはどこだ？」
 【本事業の主催は市総合学習センター】
 実施日 10月4日(土) 参加人数 83人

4 プラネタリウム・全天周映画

(1) 15年度観覧者合計 53,625人

投影内容別は以下記。月別の観覧者については3ページ参照。

(2) 一般投影(プラネタリウム)

ア 内容 解説員による季節の星空解説と企画番組で構成(所要約50分)

番組名	投影期間
第2の地球を求めて-太陽系外惑星-	[平成15年3月8日(土)]~7月13日(日)
ケプラーの見た宇宙-惑星は、だ円に動く-	7月20日(日)~1月18日(日)
スペースコロニー-宇宙でくらす人々-	1月24日(土)~[平成16年7月11日(日)]

イ 投影時間 平日...午後3時50分

土・日・祝日・小中学校長期休み等...午後1時30分と3時50分

ウ 観覧者 18,655人(平成15年度)

(3) 全天周映画

ア 内容 大型フィルム使用の映画作品を上映(所要約45分)

番組名	上映期間
ヒューマン ボディ	[平成14年10月19日(土)]~4月20日(日)
T-R E X~現代によみがえる恐竜王国~	4月23日(水)~10月13日(月)
オーストラリア~その大地と生き物たち~	10月18日(土)~[平成16年4月18日(日)]

イ 上映時間 平日...午後2時40分

土・日・祝日・小中学校長期休み等...午前10時50分と午後2時40分

ウ 観覧者 24,859人(平成15年度)

(4) 学習投影

ア 内容 小中学校、幼稚園・保育園の団体観覧用の番組

作品 小・中学校向け「月の形と動き」

小・中学校向け「星の動き(夏/冬)」

小・中学校向け「太陽と惑星」

小・中学校向け「太陽系の仲間たち」

小・中学校向け「月の形と動き」

幼児向け「うちゅうの七にんきょうだい」

幼児向け「ピーターパンのぼうけん」

イ 投影時間 事前に利用団体と調整し、主に平日午前中に投影

ウ 観覧者 10,111人

(5) 出版物

プラネタリウム・全天周映画案内A5パンフレット、B2ポスター...番組別に作成

5 その他

(1) 情報サービスコーナー

ビデオライブラリーの作品年間視聴本数 計1,377本

CD-ROM文庫のソフト年間閲覧本数 計266本

(2) 収蔵資料の「ミニ展示」

主に特別展・企画展の開催期間外に、特別展示室前で展示を行った。

「自然であそぶ ～ 」4月15日～3月18日の間に4回

(3) 入館者100万人達成セレモニー<1月18日(日)>

平成7年11月20日の開館から数えて100万人目の入館者をお迎えし市長・教育長らを招きエントランスで式典を開催した。

6 学校と博物館の連携を進める研究会

(1)趣 旨 学校教育の場で、児童・生徒の多様な学習要求に応じた幅広い学習活動充実のために、博物館の効率的かつ積極的な利用を図り、博物館の持っている機能を十分に生かす、学校と博物館の連携のあり方を研究・協議する機関。

(2)委員構成 5名(市立小学校教諭)、3名(市立中学校教諭)の計8名

(3)任 期 2年(平成14年7月1日～平成16年6月30日)

(4)活動状況 15年度は3回開催され、利用指導のあり方や年度末に刊行される実践事例集について検討を行った。

7 広報・出版

(1) 刊行物

ア 特別展・企画展のパンフレット・ポスター等 ...3種

イ 収蔵品展のパンフレット・ポスター・リーフレット ...1種

ウ プラネタリウム及び全天周映画案内パンフレット・ポスター ...計4種

エ 博物館NEWS (Vol.31～Vol.34)

オ 特別展図録

「水晶ってすばらしい！ - その美と実用の魅力 - 」

カ 報告書等

「研究報告第13集」「授業で使おう博物館～私の実践～」

(2) 有償刊行物一覧(平成16年3月末現在)

有償刊行物については、博物館と市役所情報公開室で販売。

特別展・企画展図録

書名	発行年月	販売価格
郷土の巨匠・岩橋英遠展	7・11	1,000
江南の至宝	8・2	1,300
相模原の昆虫～身近にいる小さな昆虫たち～	8・4	350
日本の宇宙開発	8・11	1,000
絵図から地形図へ～近代地形図の誕生と発展～	9・7	2,550
太陽系～母なる太陽とその家族を巡る～	9・11	700
浮世絵名品展	10・9	1,800
水生昆虫の世界～水の中の小さな虫たち～	11・7	1,200
描かれた農耕の世界	11・9	1,500
幕末・維新の相模原～村の殿様 旗本藤澤次謙と村人たち～	12・10	1,500
星の測量～角度をはかり、位置をもとめる～	13・7	700
“道”再発見 - 道の役割とその移りかわり -	13・10	1,500
昆虫のふしぎ	14・7	500
水晶ってすばらしい! -その美と実用の魅力-	15・7	1,000

調査報告書等

書名	発行年月	販売価格
研究報告第7集 1998	10・3	800
研究報告第8集 1999	11・3	600
研究報告第9集 2000	12・3	550
研究報告第10集 2001	13・3	850
研究報告第11集 2002	14・3	850
研究報告第12集 2003	15・3	900
研究報告第13集 2004	16・3	900
資料集 順席(慶応三年)	10・3	800
古山の生業と伝承	10・3	600
大島地区の自然と文化	11・3	900
相模原市作成の地図	11・3	1,000
一般図・主題図・地形図	12・3	1,200
桐生亮コレクション標本目録	13・3	1,150
大島・上矢部・田名・上溝・当麻地区の民俗	14・3	600
資料目録4 テフラ標本目録 町田洋コレクション	15・3	850

資料目録5 相模原植物誌 - 標本目録 -	15・3	600
-----------------------	------	-----

展示解説書

書名	発行年月	販売価格
相模原市立博物館・常設展示解説書	8・11	1,000

(3) 他の機関等との関連

ア ポスター掲示

前述の各ポスターを、市各機関・近隣博物館へ掲示を依頼した。

イ 記事提供

広報さがみはら、相模原記者クラブ、新聞・雑誌等のメディア、他博物館等へ記事・ポスターなどの情報を提供した。

ウ 放送番組口ケ

博物館を紹介する、テレビ・ラジオ番組の取材に応じた。

主な番組内容 テレビ朝日系全国ネット...「KID'S NEWS」

ケーブルテレビJ-COMほか...「TVフォーラム神奈川」

8 博物館実務実習

学芸員資格習得のための実習として、9月2日から9月14日まで実質8日間、15名を受け入れた。分野別の受け入れ大学は以下のとおり。歴史(東海大学・昭和女子大学・創価大学)・民俗(武蔵大学・学習院大学・東京造形大学・共立女子大学)・動物(専修大学・和光大学・桜美林大学)・植物(東京造形大学・日本女子大学)・天文(法政大学・帝京大学2)。

9 博物館職員の講師派遣等

市内各公民館・小中学校等で実施される講座・研修等について、依頼に基づき博物館職員を講師として派遣した。(これに類するものも記載)

実施日順に、「演題等」、依頼者、月日、場所、担当者を記した。

- ・「市の歴史」、職員研修室、4月2日、職員研修室大研修室、草薙由美
- ・「自然の中で暮らす昆虫」、上溝小学校、5月9日、上溝小学校4年(教室)、守屋博文
- ・「相模原市とそして横山の生き立ちを知ろう」、横山公民館ほか、5月14日、横山公民館、草薙由美
- ・「プールに住む水生昆虫」、共和小学校、6月3日、共和小学校5年(プール)、守屋博文
- ・「中2道徳(戦争と相模原)」、共和中学校、6月10日、共和中学校体育館、遠山正紀
- ・「川の生き物をさがそう」、境川の斜面緑地を守る会、6月21日、境川のひのき橋、守屋博文
- ・「道保川の自然」、陽光台小学校、6月20日、陽光台小学校3年、守屋博文
- ・「星を見よう(理科)」、弥栄小学校、7月4日、弥栄小ほほえみランド(4年)、平能克泰
- ・「親子で見る夏の星座観望会」、星が丘公民館、7月18日、星が丘小学校校庭、平能克泰

- ・「水の中の虫たち」、町田市都市公園緑地課、7月20日、忠生がにやら自然館、守屋博文
- ・第330回NACS「J自然観察指導員講習会「地域の自然を理解しよう(植物)」」、(財)日本自然保護協会、7月20日、富士ゼロックス塚原研修所、秋山幸也
- ・新磯小教員研修会「上磯辺・下磯辺地区のフィールドワーク」、7月24日、新磯地区、加藤隆志
- ・環境教育研修「相模川の生き物と環境」、座間市教育研究所、7月30日、相模川グラウンド、守屋博文
- ・「夏の星座とみずがめ座流星群を観測しよう」、新磯公民館、7月29日ほか、新磯小学校校庭、平能克泰
- ・教職員理科研修「神奈川の生い立ちを探る」、藤沢市教育文化センター、8月19日、当館、河尻清和
- ・「森林ボランティア学習会」、(財)相模原市みどりの協会、8月27日、守屋博文
- ・高齢者学級「相模原の移り変わり」、陽光台公民館、9月26日、当館、遠山正紀
- ・原稿執筆「落ち葉に関すること」、(財)相模原市みどりの協会、10月1日刊行機関紙「グリーン」、秋山幸也
- ・「川探検について」、当麻田小学校、10月2日、当麻田小学校視聴覚室(4年)、秋山幸也
- ・「秋に見られる虫」、青葉小学校、10月7日、青葉小学校生活科(1年)、守屋博文
- ・「川に住む生き物や環境調査」、当麻田小学校、10月10日、境川(3年生)、守屋博文
- ・歴史講座「(江戸期の)相模原の開発と農村文化」、大野台公民館、10月10日、大野台公民館、草薙由美
- ・「小3総合(学区の歴史)」、並木小学校、10月17日、並木小学校ランチルーム、遠山正紀
- ・小中新採用教員研修会、市指導課、10月21日、当館、遠山正紀・平能克泰
- ・歴史講座「江戸時代の相模原(フィールドワーク)」、大野台公民館、10月24日、淵野辺地区、加藤隆志
- ・高齢者学級「光が丘の移り変わり」、光が丘公民館、10月24日、当館、遠山正紀、
- ・「親子自然観察会」、(財)相模原市みどりの協会、10月25日、横山公園、秋山幸也
- ・自治会文化活動「陽光台の歴史」、陽光台5丁目自治会、10月25日、自治会館ホール、遠山正紀
- ・理科部会教職員研修「相模川流域の地質」、相模原市立中学校教育研究会、11月11日、当館、河尻清和
- ・「惑星儀を作ろう」ほか、夢の丘小学校、11月12日ほか2回、夢の丘小学校、平能克泰
- ・文化講座「検証・大山道と大山参り」、大沼公民館、11月15日、大沼公民館、加藤隆志
- ・「親子で見える冬の星空観察」、星が丘公民館、12月16日、星が丘小学校校庭、平能克泰
- ・理科学習「地層」、田名北小学校、12月19日、田名北小学校視聴覚室(6年)、河尻清和
- ・「親子星座観察教室」、大沼公民館、1月4日、当館、平能克泰
- ・「親子星座観察教室」、大沼公民館、1月6日、大沼公民館屋上、平能克泰・塩谷裕久
- ・「星空観望会」研修、相模川自然の村野外体験教室、1月9日、当館、杉本芳秋
- ・しろやま町民大学歴史講座「旗本藤沢氏と武相の村々」、城山町教育委員会、1月17日、城山町立公民館、草薙由美

- ・「星空観察(理科)」、弥栄小学校、1月23日、弥栄小学校校庭(4年)、平能克泰・塩谷裕久
- ・「星空観望会」研修、相模川自然の村野外体験教室、1月30日、当館、平能克泰
- ・「地形地質関係の調査内容検討」、市史編さん室、2月12日、東急建設地下空間実験場、河尻清和
- ・自然観察会「冬の植物観察」、わかば自治会、2月8日、県立相模原公園、秋山幸也
- ・「星空観望会」、上鶴間公民館、2月8日、上鶴間公民館駐車場、塩谷裕久
- ・「冬の星空観察会」、東林公民館、2月14日、東林小学校校庭、平能克泰
- ・「星空観望会」、大野南公民館、2月21日、大野南公民館駐車場、杉本芳秋
- ・「星空観望会」、上溝南小学校、2月24日、上溝南小学校校庭(4年)、平能克泰・塩谷裕久
- ・第343回NACS J自然観察指導員講習会「相模原市の植物相について」、(財)日本自然保護協会、3月13日、相模川清流の里、秋山幸也
- ・親子ふれあい事業「植物の自然観察員」、相模原市相武台地区青少年育成協議会、3月20日、勝坂公園、秋山幸也

他に(継続的なものとして)、

- ・「相模原市史続編『民俗編』の調査」、加藤隆志
- ・「県博物館協会人文科学部会部会長としての諸業務」、加藤隆志
- ・「県博物館協会創立50周年記念事業実行委員としての諸業務」、加藤隆志

資料管理

1 16年3月31日現在の資料点数は、19頁のとおり。

2 資料収集・保存

分野	内容
考古資料	旧斎藤武一氏所蔵資料の整理 収蔵資料台帳の作成とその検索システムに関するデータ入力作業
歴史資料	歴史資料の収集・整理、未整理資料の整理
民俗資料	市域の民俗資料の収集、未整理資料の整理及びカード作成
地理資料	市域の生活資料の収集・整理。寄贈図書、地図の整理
動物資料	収集及び収蔵資料の整理
植物資料	植物資料の収集及び標本の作製・整理
地質資料	岩石・化石資料の収集 寄贈予定資料(火山灰、故貝塚爽平氏研究資料)の整理・データ化
天文資料	星雲・星団・太陽画像の撮影 インターネットによる公開天文台ネットワーク、国立天文台等からの画像収集
情報資料	他博物館より送付されたパンフレット等の閲覧用への整理

3 15年度購入資料

区分	内 容
博物館資料	「増補東都近郊全図」、「古事類苑(全51冊)」
学術雑誌	考古学ジャーナル・月刊むし・天文月報等の専門雑誌24種 (市民研究室・天文研究室で開架)
新刊書籍及び ビデオソフト等	市民研究室・情報サービスコーナーへの配架用として、新刊書 を中心とした書籍60冊、ビデオ7本、CD-ROM6本を購入した。

4 燻蒸の実施

受入れ資料の燻蒸を8月(一部の収蔵庫を含む)及び1月に実施した。

5 資料の特別利用

平成15年度の資料特別利用(館外貸出等)について、日付(期間)順に、資料、利用種別、期間、申請者、目的の順に記した。

- ・航空写真23冊、館外貸出、〔3月29日〕～6月29日、市資産税課、調査事務
- ・下原遺跡ポジフィルム、その他、4月1日～6月15日、船橋市飛ノ台史跡公園博物館、展示
- ・土器(深鉢)、館外貸出し、5月20日～6月15日、船橋市飛ノ台史跡公園博物館、展示
- ・俳句句集2点、模写(翻刻)、4月4日、厚木市文化財保護課、厚木市史掲載
- ・上溝景観写真、館外貸出し、5月23日～6月6日、民間、研究調査
- ・新磯土地改良区整理確定図、撮影、5月30日、市道路管理課、調査事務
- ・淵野辺ノ鹿沼景観写真ほか、館外貸出、6月3日～6月10日、民間、広報紙掲載
- ・上溝景観写真ほか、館外貸出し、6月4日～6月14日、民間、研究調査
- ・南津電気鉄道関係相原村役場資料、撮影、6月21日、個人、研究
- ・航空写真23冊、館外貸出、6月30日～9月30日、市資産税課、調査事務
- ・勝坂式土器一式、その他、7月9日、民間、史跡ビデオ作成
- ・衣料切符、その他、7月25日、民間、ブックレット作成
- ・上溝の街並(中宿)写真ほか、館外貸出、7月18日、民間、出版物掲載
- ・上中丸遺跡出土土器5点、撮影、7月19日、民間、調査
- ・相模原市土地宝典(麻溝地内)、撮影、7月29日、民間、調査
- ・中村遺跡第 文化層出土資料他3件175点、館外貸出、8月15日～9月13日、市市史編さん室、X線分析
- ・横浜周辺外国人遊歩区域図ポジ、館外貸出、8月15日～9月14日、県立公文書館、展示パンフレット掲載
- ・道祖神石塔、撮影、8月22日、個人、資料作成

- ・勝坂遺跡出土土器40点、撮影、8月28日、個人、修士論文作成
- ・橋本遺跡出土土器3点、閲覧、9月3日・4日、個人、卒業論文作成
- ・下原遺跡出土土器ほか、撮影、9月21日、個人、研究論文作成
- ・中村遺跡出土土器140点ほか、館外貸出、9月27日～9月28日、民間、展示
- ・航空写真23冊、館外貸出、10月1日～12月31日、市資産税課、調査事務
- ・神奈川新聞(昭和20年～24年)8点、館外貸出、10月7日～11月6日、市市史編さん室、市史編さん事務
- ・縄文土器4点、館外貸出、10月9日～10月16日、県立弥栄東高校、教材利用
- ・電気洗濯機ほか、撮影、10月25日、横浜市立日吉台小学校、出版物掲載
- ・脱穀機、館外貸出、10月21日～10月30日、個人、調査研究
- ・ボリングコア一式、館外貸出、10月22日～11月8日、小山小学校、6年生理科授業
- ・郡長訓示綴(相原村)部分ほか、撮影、10月26日～11月25日の内3日間、個人、調査研究
- ・横浜周辺外国人遊歩区域図、館外貸出、10月28日～11月28日の間3日、県立公文書館、展示
- ・足ふみ脱穀機2点ほか、館外貸出、11月9日、民間、脱穀体験
- ・鉦、撮影、11月12日、個人、卒業論文作成
- ・淵野辺村絵図、撮影、11月20日、個人、授業利用
- ・橋本駅(大正初期)写真、館外貸出、11月22日～11月29日、民間、新聞掲載
- ・縄文土器2点、館外貸出、12月2日～12月9日、県立弥栄東高校、教材利用
- ・例規録(大野村村政8-1)ほか、撮影、12月6日、個人、調査研究
- ・勝坂遺跡縄文草期石器、撮影、12月10日、個人、修士論文作成
- ・高温石英実体顕微鏡写真、館外貸出、12月25日～2月5日、民間、機関誌掲載
- ・都市建設区画整理事業図(昭和10年代)ほか、その他、12月19日、個人、卒業論文作成
- ・淵野辺山王平遺跡出土資料、撮影、1月28日、個人、総合学習
- ・脱穀写真2点、館外貸出、1月31日～〔4月30日〕、個人、出版物掲載
- ・植物写真ポジ7点、館外貸出、1月31日～2月5日、相模原市観光協会、HP掲載
- ・菱縄ない機、閲覧、2月4日、民間、調査研究
- ・外観写真(要覧)、模写、2月6日、民間、出版物掲載
- ・今城塚古墳出土埴輪(借用資料)、撮影、2月17日、個人、調査研究
- ・橋本駅(昭和32年)、館外貸出、2月25日～3月5日、民間、記念誌掲載
- ・航空写真23冊、館外貸出、1月1日～3月31日、市資産税課、調査事務
- ・糸車、撮影、3月6日、個人、宿題
- ・田名村字引絵図23号字久所、撮影、3月11日、市都市計画課、調査事務
- ・田名坂上遺跡出土三彩小壺ポジ写真、館外貸出、3月23日～3月31日、市文化財保護室、報道提供
- ・片野湘雲襖絵、撮影、3月23日、相模原市民ギャラリー、パンフレット掲載
- ・縄文土器6点、館外貸出、3月25日～〔12月9日〕、県立弥栄東高校、教材利用
- ・田名向原遺跡調査写真、館外貸出、3月18日～〔4月18日〕、記念誌作成

調査研究

調査分野 及び調査者	内 容
考古資料の調査 河本 雅人	境川流域における旧石器時代遺跡発掘調査資料の再検討
歴史資料の調査 草薙 由美	市域旧家所蔵資料に関する調査 近世村落における文書の保存管理に関する調査
民俗資料の調査 加藤 隆志	市域及び周辺地域における石仏及び道祖神信仰に関する調査 未発表民俗調査のデータ整理、町田市博物館職員ほかとの境川流域の調査
地理資料の調査 遠山 正紀	生活資料の分類及び収集、展示に関する調査 市域の景観調査、収蔵品展開催に伴う資料調査
動物資料の調査 守屋 博文	市域の水生昆虫生息調査...生息状況把握と二次資料化 昆虫生息調査...市域の昆虫類生息状況調査
植物資料の調査 秋山 幸也	市内における高等植物の分布状況の調査 市内及び周辺地域の緑地の植生構造調査
地質資料の調査 河尻 清和	相模川流域の地質調査、火山灰資料調査
天文資料の調査 杉本 芳秋 平能 克泰 塩谷 裕久	おうし座 471星の光電測光観測

相模原市立博物館

発行：平成16年4月1日

住所：〒229-0021 相模原市高根3-1-15

TEL：042-750-8030 FAX：042-750-8061

<http://www.remus.dti.ne.jp/~sagami/index.htm>